

課題演習について

この研修では、課題演習という課目が設定されています。その概要は、一定のテーマについて、演習班（グループ）に分かれて討議等を行った上で、その内容を発表用のレジюмеにまとめ、発表するというものです。

1 課題演習のねらい

- (1) 一定の事案について、現状を把握して問題点等を的確に抽出し、その原因を分析した上で政策等を立案していくという能力、グループにおける自己の役割を果たしながら様々な意見を調整して時間内に一定の成果を導き出すという能力、討議等の内容や導き出した成果を他の者に適切に伝えるというプレゼンテーション能力等、職務遂行に必要な能力の向上を図ること。
- (2) 各自自治体が共通して抱える課題について情報交換、意見交換等を行うことにより、課題解決に当たっての手がかりをつかみ、担当業務に対するモチベーションの向上を図るとともに、研修生相互の交流を深めること。

2 課題演習テーマ

課題演習テーマは、次の3つ（メインテーマ）を設定しています。（「研修受講申告書」において課題演習テーマに係る意向調査あり）

- ① 風水害時、住民に避難してもらうための方策について（いざというときの住民への情報伝達、日頃からの住民への意識啓発等の課題から考える。）
- ② 避難所開設・運営への住民参画に関する課題及び効果的な取組について
- ③ 災害対策本部の設置・運営に関する課題及び効果的な取組について

各課題演習班で討議の対象となる課題演習テーマは、上記3つのいずれかになります。選択者数の多寡により、必ずしもご希望通りにならないこともありますので、ご承知おきください。課題演習班及びその課題演習テーマは、開講日に配布する開講オリエンテーション資料においてお知らせします。

3 課題演習（討議）の進め方、役割分担等

課題演習においては、討議や発表準備を自主的・計画的に進められるよう、「座長」（司会、進行管理等）、「記録係」（討議日誌及び発表用資料の作成、板書等）、「発表者」等の役割分担を設けます。座長の任に当たることは、今後、職務を行う上での貴重な経験となり人脈も広がり、合同研修に参加した意義もより高まりますので、積極的に希望されることをお勧めします。

なお、時間割では、17時以降に「課題演習」の時間を設定している場合があります。

4 発表

各演習班は、討議等の結果をまとめ、最後に発表用資料等を用いてクラス全員の前で発表し、質疑応答を行うとともに、講師による講評を受けます。